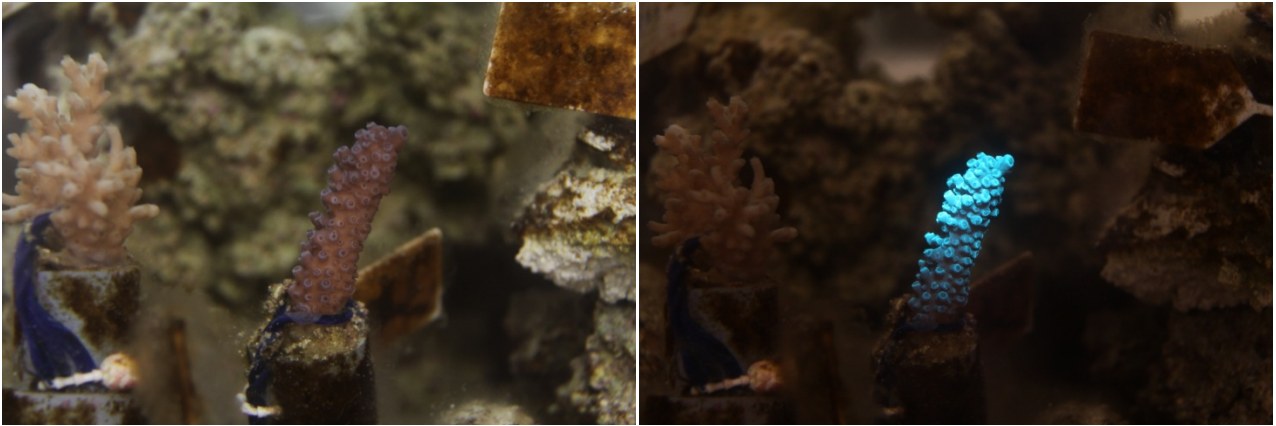


サンゴ実験学習プログラム内容 八重山漁協サンゴ養殖研究班

時間配分	内 容	教 材
5分	(導入) 自己紹介 キーワード：海人がサンゴを増やす？	
5分 (10分)	(実験への誘導) 質問：死んでいるサンゴはどれかな？ 行動：水槽内サンゴの観察と質問への答え ↓ 実験への誘導	サンゴ水槽 生きたサンゴ 骨格だけのサンゴ
5分 (15分)	(実 験) 骨格標本と生きているサンゴにブラックライトを照射する。 ↓ その結果、生きているサンゴだけ光る。	ブラックライト ※1
5分 (20分)	(実験の確認) 生きているサンゴと骨格だけのサンゴをUSBスコープで拡大して見てみる。 ↓ 確認してみると、生きているサンゴにはポリプがあり触手が動いている。	スコープ モニター ※2
5分 (25分)	(実験結果の解説) サンゴは硬い骨を作り、その中で生きている。 光を放つのは、生きたサンゴが持つ蛍光たんぱく質。	
15分(40分)	(サンゴの観察) 3グループ毎に生きたサンゴを用意してグループで観察。 1：見る。 2：触れる。 3：匂いを嗅ぐ。 感じた事や気付いた事をノートに記入。	バケツ 生きたサンゴ (3つ)
5分 (45分)	(まとめ) キーワード：海人がサンゴを増やす？ 答え：今、サンゴがどんどん減ってきている。そしてそれは魚を減らしてしまっている。	画像 1. 養殖風景 2. 白化 3. オニヒトデ
5分 (50分)	(質問) 実験や観察での質問。	

※ 1



※ 2



わくわくサンゴ石垣島プロジェクト